

人を磨き、世界で貢献する企業を



震災からの復旧、復興への使命

東日本大震災の発生以来一年以上が経ち、我々の事業活動に対する影響は収束の方向に向かっています。しかし、瓦礫処理と原発事故の終結の目処はたっており、地域住民の皆さんが抱えている不安は依然として計り知れないものがあると思います。被災された皆さんが一日も早く普通の生活を取り戻すことができるよう、荏原グループは今後も最大限の協力を惜しみません。

震災が発生した直後から、インフラを復旧させるための体制を整え、被災地へ技術者を派遣し、ポンプ機場あるいはごみ焼却施設等の復旧に取り組みました。荏原グループの社員は、余震の発生が収まらない状況下で復旧作業に懸命に取り組み、早期復旧に貢献することができました。それが、創業以来100年に亘ってインフラに関する製品を供給し、その保守に携わってきた荏原の実力だと感じたのは私だけではないと思います。一方で、国内の主力工場は、電力削減が必須の中で輪番制と休日出勤を行うことで、製品供給を継続させるという責任を全うすることができました。災害発生時に、インフラを支える企業として、社会に対して責任を果たすことができたと評価しています。

株式会社荏原製作所 代表取締役社長

矢後夏之助

社員の行動がCSR活動の柱

“企業が社会に対して果たすべき責任”について、当社がどのように考え、どう取り組んでいるかということをステークホルダーの皆様にご正確に伝えたいという思いから、環境レポートをCSRレポートへ発展させたのが5年前です。

目指します

企業のCSR活動に対する社会の関心は更に高まり、それに
応えるべく当社のCSRレポートの内容も徐々にではありま
すが変わってきています。そのような変化の中で、今も変わ
らない点が“CSR活動を実践していくためには、社員はどの
ような規範に基づいて行動するべきか?”という命題です。
企業は社員個人から構成されていますから、CSRは
“社員が企業活動に携わる中で社会に対して果たすべき
責任”と同義です。社員一人ひとりの行動がCSR活動の
柱になることは言うまでもありません。

企業は“社会の持つ有限な資源を利用して、その価値を
最大化するための活動を行う”ことで社会に貢献しなけれ
ばなりません。そのために、利益目標及び利益の社会への
還元方法も含めて、企業は事業活動を通して達成すべき
ことを明文化しています。それが経営計画です。社員は、
この経営計画の実現に向けた活動を通じて社会への責任
を果たすこととなります。一方で、企業活動の担い手とな
る社員は、常に新たな課題に対して行動を起こさなければ
ならない状況におかれています。行動を起こす際の判断
基準となるのが“社会の公序良俗に従った行動かどうか?”
という問いかけであり、“行動が社会の価値を高めること
につながるかどうか?”ということです。

そこで企業は、社員が正しい判断をする道標として、
企業としての進むべき方向性と価値基準を示した“企業
理念”を持ち、企業倫理に基づいた行動における判断基
準を示した“行動基準”を定めています。荏原グループの
場合、それに加えて、行動の良し悪しを社員自身で判断・
検証するための基準として“行動基本原則5か条”を定め

ています。これらの基準は、
複雑な状況においても正しい
判断ができるように普遍化
されており、特に“企業理念”
と“行動基本原則5か条”は、
世界で事業を展開する荏原
の社員が、行動を起こすため
の規範として有効なものだと



考えています。そして、より世界で普遍化された行動基準
とするため、荏原では荏原グループ行動基準に加え、社員
全員にグローバル・コンパクトの10原則(GC10原則)の
内容の理解を深めるよう強く推奨しています。

これからの100年も 世界から必要とされる 産業機械メーカーを目指します

GC10原則は、“人を対象とした世界共通の行動基準”
として簡潔な文章でまとめられています。各原則は、人と
してそれに従うことに疑問の余地がない内容となってい
ます。即ち、一人ひとりがその原則に従って行動すること
が当然と言える内容です。既に海外で仕事をしている
社員及び今後海外で仕事をする予定の人たちは、日本
と自分が働く地域との文化の違いに戸惑うことが多い
はずです。そのような異文化の中で正しい判断に基づ
く行動が要求されるわけですから、世界標準といえる
行動基準を簡潔にまとめた“GC10原則”を“企業理念”
と“行動基本原則5か条”と組み合わせると判断すれば、
荏原グループが社会に果たすべき責任を、世界のどこに
おいても正しい行動で実行できるはずで、私たちが考
えるCSR活動とは、社員一人ひとりがこれらの規範に基づ
いた“人として正しい行動”の実践であることは言うま
でもありません。

当社は、2012年に創業100周年を迎えます。当社の
事業は、常に社会の礎としての役割を果たしてきました。
今後は、新興国を中心とした経済発展や世界規模での人
口増加により、荏原グループが密接に関わる水インフラや
エネルギー関連施設の増加が見込まれるなど、世界を舞
台にした活動が一層増えていきます。荏原グループは、
世界中のグループ会社とその社員が一丸となって取り組
むことで、次の100年も優れた技術と最良のサービスの
提供を通じて広く社会に貢献する産業機械メーカーとして
歩んでまいります。